

平成30年度事業報告書

自：平成30（2018）年4月 1日

至：平成31（2019）年3月 31日

事業の状況

I 公益目的事業（公1）

1 演奏家の育成事業（育成）

（1）新進演奏家育成プロジェクト

＝文化庁委託事業「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」＝

新進演奏家育成プロジェクトは、文化庁委託事業「平成30年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」に採択された事業で、文化庁と日本演奏連盟の共催事業として下記の①から④までの4つの事業を展開した。

①「リサイタル・シリーズ」の開催

（札幌2回、東京10回、名古屋2回、京都1回、大阪4回、大分1回 計20回）

若手演奏家を対象として各地で実技オーディションを実施し、リサイタル・デビューの場を提供した。当シリーズは30年度末で通算159回を数えたが、当初の「演連コンサート」の名称の時代を含めると、これまでで600人を超える若手演奏家のデビューをバックアップしてきたことになる。リサイタルという場で存分に力を発揮し、次の目標に向かってステップアップすることができるよう、万全のサポート体制をもって取り組んだ。

・「リサイタル・シリーズTOKYO」東京文化会館小ホール

- #71 平成30年7月12日（木）太田幸江フルート・リサイタル
- #72 平成30年7月25日（水）佐藤由紀クラリネット・リサイタル
- #73 平成30年8月27日（月）小山佳織ヴィオラ・リサイタル
- #74 平成30年9月6日（木）タレイアケルテット・リサイタル
- #75 平成30年9月25日（火）川田将人ピアノ・リサイタル
- #76 平成30年10月2日（火）木米真理恵ピアノ・リサイタル
- #77 平成30年10月18日（木）恩田佳奈ピアノ・リサイタル
- #78 平成30年11月13日（火）吉武優ピアノ・リサイタル
- #79 平成30年12月11日（火）小野綾香メゾソプラノ・リサイタル
- #80 平成31年1月15日（火）篠山春菜ヴァイオリン・リサイタル

・「リサイタル・シリーズOSAKA」いづみホール 協賛：いづみホール

- #29 平成30年10月23日（火）森本美帆ピアノ・リサイタル
- #30 平成30年10月29日（月）澤田奈央子ピアノ・リサイタル
- #31 平成30年11月20日（火）山口和子ソプラノ・リサイタル
- #32 平成30年12月7日（金）塚本芙美香ピアノ・リサイタル

・「リサイタル・シリーズSAPPORO」札幌コンサートホールKitara小ホール

- #15 平成30年12月14日（金）高橋良輔クラリネット・リサイタル
- #16 平成31年1月25日（金）井畑志保フルート・リサイタル

・「リサイタル・シリーズNAGOYA」ザ・コンサートホール(電気文化会館)

- #15 平成30年11月28日（水）安藤玲奈ピアノ・リサイタル
- #16 平成30年12月6日（木）中島英寿ピアノ・リサイタル

・「リサイタル・シリーズKYOTO」京都コンサートホール・アンサンブルホールムラタ

- #9 平成31年2月15日（金）東山梓クラリネット・リサイタル

・「リサイタル・シリーズOITA」iichiko総合文化センター・音の泉ホール

- #6 平成31年1月19日（土）蒲原光ピアノ・リサイタル

②「オーケストラ・シリーズ」の開催（6回）

全国6都市のプロ・オーケストラとの共催事業として、地域の音楽大学、音楽団体、教育関係者等から推薦を受けた応募者をそれぞれの地域でオーディションにより選考し、合格した方にオーケストラとの協演の機会を提供した。現在、若手演奏家がプロのオーケストラと協演できるチャンスはコンクールの本選などの機会を除いてほとんどなく、まさに国の支援を得ることによってのみ実現可能な事業であり、当事業に対する期待は高い。

- ・第43回 大阪 平成31年1月14日（月・祝）ザ・シンフォニーホール
演奏：日本センチュリー交響楽団 指揮：大勝秀也
出演：濱田凌平（Eu）、東谷咲子（Tb）、樋上愛加（Pf）、三輪千賀（Sop）、大倉佳栄（Vn）
共催：（公財）日本センチュリー交響楽団
- ・第44回 名古屋 平成31年1月25日（金）愛知県芸術劇場コンサートホール
演奏：名古屋フィルハーモニー交響楽団 指揮：梅田俊明
出演：太田咲耶（Harp）、小阪怜佳（Ob）、佐藤杏奈（Sax）、猪子杏奈（Pf）、川越未晴（Sop）
共催：（公財）名古屋フィルハーモニー交響楽団
- ・第45回 福岡 平成31年2月6日（水）FFGホール
演奏：九州交響楽団 指揮：飯森範親
出演：福田萌（Hrn）、皆川直輝（Cb）、齋藤羽奈子（Vn）、井上貴裕（Cb）、内田野乃夏（Pf）
共催：（公財）九州交響楽団
- ・第46回 札幌 平成31年2月10日（日）札幌コンサートホール Kitara 大ホール
演奏：札幌交響楽団 指揮：現田茂夫
出演：金子愛英（F1）、鈴木勇人（Va）、白戸麻未（Hrn）、永井彩澄（F1）、福井萌（Cl）
共催：（公財）札幌交響楽団／北海道新聞社
協賛：（公財）道銀文化財団
後援：北海道／札幌市／札幌市教育委員会
- ・第47回 広島 平成31年2月20日（水）JMS アステールプラザ大ホール
演奏：広島交響楽団 指揮：末廣誠
出演：小山祐貴（Tp）、加藤陽介（Tb）、桐本萌絵（Sax）、木村瑠菜（Vn）
共催：（公社）広島交響楽協会
後援：中国新聞社
- ・第48回 仙台 平成31年3月3日（日）日立システムズホール仙台コンサートホール
演奏：仙台フィルハーモニー管弦楽団 指揮：鈴木織衛
出演：畢曉樺（F1）、伊藤舞梨（Harp）、浦田誠真（Tp）、石丸友貴（Pf）
共催：（公財）仙台フィルハーモニー管弦楽団
後援：宮城県／仙台市／宮城県教育委員会／仙台市教育委員会

③「ジョイントリサイタル」の開催（1回）

文化庁新進芸術家海外研修制度により、海外で研鑽を積んだ新進演奏家の成果発表の場として、30年度はチェンバロとフォルテピアノのジョイントリサイタルを実施した。

- ・平成30年12月21日（金）東京オペラシティ・リサイタルホール
出演：崎本麻見（Cemb）、荒川智美（Fp）

④「若いトランペット奏者のための公開マスタークラス」 講師：杉木峯夫

国内外のトップクラスの演奏家を講師に招き、オーディションで選抜した若手演奏家にステージで指導を受けてもらう事業で、平成30年度は東京藝術大学名誉教授、愛知県立芸術大学特任教授、日本トランペット協会理事長の杉木峯夫氏を講師に、東京と富山で公開マスタークラスを開催した。

- ・平成30年11月15日(木) 東京/東京オペラシティ・リサイタルホール
受講生/只木結乃、シモンズ慶敏、犬飼伸紀、大川千瑛
- ・平成30年11月17日(土) 富山/北日本新聞ホール
受講生/嶋愛理子、野上洵達、上田優香

(2) 文化庁新進芸術家海外研修制度の協力<2019年度派遣対象>

新進芸術家海外研修員の音楽分野の応募の取りまとめを行なった。

研修期間	日演連受付け数	左記の合格者数
1年研修(200~350日)	6名	1名
2年研修(700日)	1名	0名
特別研修(80日)	1名	0名
計	8名	1名

2 音楽普及活動(自主公演)

(1) 「2019 都民芸術フェスティバル」の主催公演

=助成：東京都=

都民芸術フェスティバルは東京都が助成する新春を飾るフェスティバルで、毎年1月から3月にかけて実施しており、今回で51回目を数えた。平成30年度は広範な芸術ジャンルの中から11部門、85公演が実施され、当連盟はこのうちのクラシック音楽部門を開催した。なお、オーケストラ・シリーズが開始以来50回目となることを記念して17本のトランペット奏者によるファンファーレを初日に演奏し、フェスティバルを華やかに盛り上げた。

①オペラ(3団体 8公演)

- ・ヴェルディ作曲「ラ・トラヴィアータ」(ニュープロダクション)
共催：(公財)日本オペラ振興会<直接事業>
藤原歌劇団公演 平成31年1月25日(金)、26日(土)、27日(日)3回公演
/東京文化会館大ホール
- ・三木稔作曲「静と義経」共催：(公財)日本オペラ振興会<直接事業>
日本オペラ協会公演 平成31年3月2日(土)、3日(日)2回公演
/新宿文化センター大ホール
- ・黛敏郎作曲「金閣寺」共催：(公財)東京二期会<直接事業>
東京二期会オペラ劇場 平成31年2月22日(金)、23日(土)、24日(日)3回公演
/東京文化会館大ホール

②オーケストラ・シリーズ(8団体 8公演) / 東京芸術劇場コンサートホール

- ・平成31年1月30日(水) 開場時における50周年記念トランペット・ファンファーレ
1964年東京オリンピック・ファンファーレ
1972年札幌オリンピック・ファンファーレ
1964年東京オリンピック・マーチ(編曲：立原勇)
出演 杉木峯夫指揮
NHK交響楽団/安藤友樹、井川明彦
神奈川フィルハーモニー管弦楽団/三澤徹
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団/平木仁、松木亜希
東京都交響楽団/岡崎耕二、内藤知裕、中山隆崇
東京ニューシティ管弦楽団/後藤慎介、依田泰幸
東京フィルハーモニー交響楽団/重井吉彦、前田寛人

日本フィルハーモニー交響楽団／0・クリストーフオリ、橋本洋
読売日本交響楽団／尹千浩
フリー／小林好夫、野田亮

- ・平成 31 年 1 月 30 日（水）演奏：NHK 交響楽団
指揮：ロベルト・フォレス・ベセス ピアノ：ソン・ヨルム
～50 周年への幕開け～
チャイコフスキー：「エフゲーニ・オネーギン」からポロネーズ
チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第 1 番 ドヴォルザーク：交響曲第 7 番
 - ・平成 31 年 2 月 5 日（火）演奏：東京フィルハーモニー交響楽団
指揮：角田鋼亮 ヴァイオリン：神尾真由子
～ファンタジーな世界～
ニコライ：「ウィンザーの陽気な女房たち」序曲
ブルッフ：スコットランド幻想曲 ベートーヴェン：交響曲第 7 番
 - ・平成 31 年 2 月 7 日（木）演奏：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
指揮：高関健 ヴァイオリン：山根一仁
～傑作の森～
メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 マラー：交響曲第 1 番「巨人」
 - ・平成 31 年 2 月 20 日（水）演奏：新日本フィルハーモニー交響楽団
指揮：原田慶太楼 ピアノ：伊藤恵
～プレミアム・マチネ～
ワーグナー：「ニュルンベルクのマイスタージンガー」から第 1 幕への前奏曲
リスト：ピアノ協奏曲第 1 番 ラフマニノフ：交響曲第 2 番
 - ・平成 31 年 2 月 27 日（水）演奏：読売日本交響楽団
指揮：カーチュン・ウォン ピアノ：小山実稚恵
～天上の響き～
バーバー：弦楽のためのアダージョ モーツァルト：ピアノ協奏曲第 20 番
ブラームス：交響曲第 4 番
 - ・平成 31 年 3 月 6 日（水）演奏：東京都交響楽団
指揮：梅田俊明 ヴァイオリン：大谷康子
～ロマンの香り～
ロッシーニ：「セヴィリアの理髪師」序曲
サン＝サーンス：ヴァイオリン協奏曲第 3 番 ブラームス：交響曲第 2 番
 - ・平成 31 年 3 月 15 日（金）演奏：東京交響楽団
指揮：川瀬賢太郎 ピアノ：仲道郁代
～愛のささやき～
ドヴォルザーク：序曲「謝肉祭」 ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第 4 番
リムスキー＝コルサコフ：「シェエラザード」
 - ・平成 31 年 3 月 19 日（火）演奏：日本フィルハーモニー交響楽団
指揮：柴田真郁 チェロ：宮田大
～感謝を込めて～
モーツァルト：「フィガロの結婚」序曲 エルガー：チェロ協奏曲
ベートーヴェン：交響曲第 6 番
- ③室内楽シリーズ（3 公演） 東京文化会館小ホール**
- ・平成 31 年 1 月 23 日（水）～弦楽四重奏の真髄～
ヴァイオリン：前橋汀子・久保田巧 ヴィオラ：川本嘉子 チェロ：原田禎夫
ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第 8 番「ラズモフスキー第 2 番」、第 1 4 番
 - ・平成 31 年 2 月 13 日（水）～デュオの煌めき～
チェロ：岡本侑也 ピアノ：阪田知樹

- シューマン：幻想小曲集 メンデルスゾーン：チェロ・ソナタ第2番
黛敏郎：BUNRAKU プーランク：チェロ・ソナタ
・平成31年3月4日（月）～深遠なるトリオの調べ～
ピアノ：萩原麻未 ヴァイオリン：梁美沙 チェロ：堤 剛
ベートーヴェン：チェロ・ソナタ第4番
ラヴェル：ヴァイオリンとピアノのためのソナタ
ハルヴォルセン：ヘンデルの主題によるパッサカリア
ドヴォルザーク：ピアノ三重奏曲第4番「ドゥムキー」

(2) 日本演奏連盟関西委員会発足30周年記念事業

<演奏家と邦人作曲家シリーズ2019 in KANSAI>の企画

地域委員会として活動する関西委員会が2019年に発足30周年を迎えることを記念して、当連盟が2015年の創立50周年記念事業として取り組んだ<演奏家と邦人作曲家シリーズ>の関西版を開催することとなり、関西委員会委員を中心に企画内容を検討し、平成31年2月20日からチケットを発売した。

3 調査研究及び権利擁護活動（調査、資料収集）

(1) 「演奏年鑑2019 音楽資料（通巻第45号）」の刊行

＝文化庁委託事業「平成30年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」＝
B5判 590頁 1,500部 関係機関及び資料提供団体等に配布。

様々な形態で開催されているクラシック音楽の演奏会を都道府県別にジャンル分けして数値化した統計表の他、楽界展望、各種芸術賞やコンクール記録はじめ音楽関連団体・音楽家人名録、ホール便覧に加えて新進演奏家の活動の指針となるテーマを重点的に調査し掲載したものを約590頁にまとめ発行した。紙媒体の他、当連盟のWebサイトで閲覧可能な情報について可能な限り公開するよう努めた。

(2) 機関紙・月刊「えんれん」の発行と情報誌「ぶらあぼ」の配布

B5判 8頁 3,600部 会員及び関係団体等に無料配布。

国の芸術文化予算はじめ芸術文化行政に関する事項、国公立音楽系大学の教員公募やオーケストラ楽員募集など、我が国の楽界における様々な情報を機関紙にまとめ毎月1回発行し、情報の周知に努めた。

(3) 著作隣接権の権利擁護と個人分配に協力

一般社団法人演奏家権利処理合同機構MPNを構成する団体の一員として、演奏家が有する著作隣接権の様々な諸権利に基づく報酬が適正に分配されるため、広報活動や委任契約促進活動などに協力した。またMPNに設置したクラシック委員会（日本音楽家ユニオン、日本オーケストラ連盟、日本演奏連盟）の中心団体としてクラシック部門の報酬分配のための作業を積極的に推し進め、2016年度徴収分のクラシック部門の個人分配作業を行った。

2016年度徴収分…744件 62,660,242円

(4) 芸術家会議の活動、その他芸術文化団体との連携協力

日本演奏連盟が事務局を務めている芸術家会議は全国のオーケストラ、オペラ、合唱、バレエ、演劇、古典芸能など42の芸術創造団体で構成する組織で、1972年の設立以来国の芸術文化予算の拡充、芸術団体に対する税制改正等を求める活動を展開してきた。

近年は文化芸術推進フォーラム（※）とともに「文化省創設」に向けて様々に取り組んでおり、10月20日には「連続フォーラム第1弾 今こそ文化省！『芸術の創造、制作、経済、助成一オペラ「後宮からの逃走」スタッフが語る』」を東京二期会と会員で指揮者

の下野竜也氏の協力を得て開催した。

一方、平成 30 年度は文化行政に関する 5 つの法律が制定された。すなわち、障害者による文化芸術活動の推進に関する法律、国際文化交流の祭典の実施の推進に関する法律、文部科学省設置法の一部を改正する法律、著作権法の一部を改正する法律、文化財保護法及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律である。文部科学省設置法の一部を改正する法律においては、その附帯決議に『「文化省」の創設を見据えて』の文言がはいる、超党派の国会議員で構成する文化芸術振興議員連盟では、12 月 5 日の総会において文化省創設に向けた提言が全会一致で承認され、名称が「文化芸術省」として一本化され、12 月 25 日には菅義偉内閣官房長官に 2020 年の「文化芸術省」創設を提言するに至った。今後は内外に向けて文化芸術省創設の機運を盛り上げていくことが重要である。

※文化芸術推進フォーラム（構成 20 団体、(公社)日本芸能実演家団体協議会、

(一社)日本音楽著作権協会、(一社)日本レコード協会、(公社)日本オーケストラ連盟、(一社)日本クラシック音楽事業協会他 映画、美術、写真の統括団体が加盟。)

東京都関連では、都民芸術フェスティバルに参加する 8 団体を構成員に東京都芸術文化団体協議会を組織し、東京都芸術文化振興議員連盟との協力関係の維持に努めた。

(5) 世界の国際音楽コンクール開催要項の収集と情報提供

ホームページや演奏年鑑で、国際音楽コンクールに関する情報を発信した。

(6) Web サイトや SNS を活用しての情報発信

当連盟の Web サイト、Twitter、Facebook を通じて事業・催事案内、入会案内、著作権隣接権、教員公募、楽員募集など音楽界に関わる様々な情報を発信するとともに、演奏会チケットのインターネット予約販売を行った。

4 助成・奨学活動（応募型）

(1) 増山美知子奨励ニューアーティストシリーズ（年間 5 公演以内）

ソプラノ歌手の増山美知子さんから提供された資金をもとに、35 歳以下の若い演奏家の本格的自主公演に対して経済的援助（1 公演 10 万円）を行った。

応募件数／6 件 採択／4 件

- ・平成 30 年 4 月 8 日（日）森田啓佑チェロリサイタル／昭和音楽大学ゆりホール
4 月 18 日（水）すみだトリフォニーホール小ホール
- ・平成 30 年 7 月 8 日（日）栗原麻樹ピアノリサイタル／銀座ヤマハホール
- ・平成 31 年 2 月 1 日（金）佐藤幸子ピアノリサイタル in 東京／浜離宮朝日ホール
- ・平成 31 年 2 月 8 日（金）田中俊太郎ヴォルフ〈イタリア歌曲集〉／横浜市イギリス館

(2) 宗次エンジェル基金／公益社団法人日本演奏連盟新進演奏家国内奨学金制度（給付型）

特定非営利活動法人イエロー・エンジェル（愛知県名古屋市）の宗次徳二理事長から支援を得て、プロのクラシック音楽の演奏家を志す全国の優秀な学生、若手演奏家に対し、教育機関での学業費用または国内での研修費用等を支援する奨学金制度（返済不要の給付型で月額 5 万円）を実施した。平成 30 年度は、書類審査、CD 審査、実技審査を経て下記の 15 名を奨学生に決定した。当制度の支援期間は最長で 2 年間までとなっている。

応募総数 58 名 奨学生 15 名

新規：秋山紗穂（ピアノ）、石田滉（ソプラノ）、井上祐吾（ヴィオラ）、
岸本萌乃加（ヴァイオリン）、五島知美（サクソフォン）、
阪本玲歌（ヴァイオリン）、杉山沙織（メゾソプラノ）、鐵百合奈（ピアノ）、
成田伊美（メゾソプラノ）、福田俊一郎（ヴァイオリン）

更新：秋元孝介（ピアノ）、伊藤優里（フルート）、小川葉奈（ソプラノ）、
前川健生（テノール）、山下裕賀（メゾソプラノ）

5 啓蒙・啓発活動

(1) 日本演奏連盟の後援名義使用承認状況

会員が主催するリサイタル及び室内楽、または各種演奏団体が主催する催事について〈後援名義使用申請〉を受けて常任理事会で協議し、後援名義使用を承認した。

・年間申請件数 149件 うち承認件数 149件

(2) 「コンサート・アシスト」事業の実施

演奏家の自主リサイタルの開催を有料でサポートする事業をコンサート・アシストとして実施した。平成30年度は4公演のマネジメントを行った。

- ・平成30年9月10日(月) ジャンミッシェル・キムピアノリサイタル／ヤマハホール
- ・平成30年10月14日(日) 菅佐知子ピアノリサイタル／東京オペラシティリサイタルホール
- ・平成30年12月22日(土) 井出久美子ピアノリサイタル／東京オペラシティリサイタルホール
- ・平成31年3月31日(日) 池山洋子ピアノリサイタル／HAKUJU HALL

(3) 東日本大震災復興支援のための演奏会協力

日本赤十字社福島県支部の要請を受けて、相馬農業高校飯館校サテライト校の学生を対象に、音楽鑑賞会を実施した。

日本赤十字社福島県支部学校支援事業
〈ヴァイオリニスト二村英仁さんと仲間たち〉

- ・平成30年10月25日(木) 13:30~14:30／福島市わいわいホール

II その他の事業（相互扶助等事業）

1 会員向け事業

(1) 「山田康子奨励・助成コンサート」（年間6公演以内）

ピアニストの故山田康子さんから提供を受けた資金をもとに、会員が主催する意欲的かつ創造的な演奏会に対して経済的な援助を行う事業で、助成枠を年間6公演以内とし、常任理事会で厳正に審査し決定した。今年度は6公演を助成した。

(総申請件数 9件)

- ・平成30年4月4日(水) 平野玲音「《春なのに》in 東京」／トッパンホール
- ・平成30年4月29日(日) 梅津千恵子「Chieko Umezumi produce 大地の饗宴〜パーカッションメッセージ vol.5」／アミュゼ柏クリスタルホール
- ・平成30年8月17日(金) 坂井田真実子「ウィーンフォルクスオーパーのプリマを迎えてオペレッタ“こうもり”」／HAKUJUホール
- ・平成30年10月29日(月) 谷口敦子ピアノリサイタル松平頼則と彼に影響を与えた作曲家達／あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール
- ・平成30年12月30日(日) 永森久恵ピアノリサイタル第8回／兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール
- ・平成31年3月17日(日) 渡邊康雄ベートーヴェンピアノ協奏曲の世界／紀尾井ホール

(2) 「日本演奏連盟会員名簿」（年1回）の発行

B5判 120頁 3,400部 11月に全会員に配布。

(3) 福祉厚生に関する互助業務

互助規程に則り、互助給付を行った。

互助給付の最近の実績

(単位：千円)

給付内容	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
入院給付	3,020 (27 件)	1,275 (11 件)	860 (10 件)	1,625 (19 件)
死亡給付	1,510 (16 件)	580 (6 件)	620 (8 件)	1,080 (12 件)
健診補助給付	158 (53 件)	155 (52 件)	137 (46 件)	83 (28 件)
永年祝金給付	1,458 (26 件)	1,080 (19 件)	1,452 (27 件)	1,242 (23 件)
熊本地震会費免除分及び見舞金		323 (14 件)		
合計	6,146 (122 件)	3,413 (102 件)	3,069 (91 件)	4,030 (82 件)

(4) 芸能に従事する人の国民健康保険等の事務取り扱い

公法人東京芸能人国民健康保険組合が管理する国民健康保険への加入の事務取り扱いを行った。

平成 31 年 3 月末現在の加入状況は、次のとおり。() 内は前年実績

- ・ 芸能人国民健康保険加入者 51 人 (52 人)

また、当連盟と提携している東京海上日動火災保険株式会社との所得補償保険、傷害保険・賠償保険の事務手続きを行った。

(5) 会員のための税務相談

顧問税理士による会員のための税務相談を確定申告時期に実施し、申告書作成に協力した。

平成30年度事業報告書の附属明細書

平成30年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。